



国民の森林・国有林

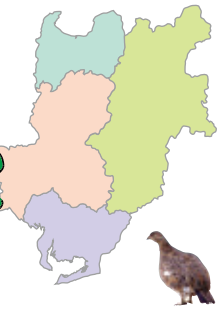
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



9月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



8月の見どころ聴きどころ⑩ 「夏休み特別企画！親子木工体験の開催」(名古屋市のKさんからの投稿)

主な項目

- 本局のトピックス (山岳科学フィールド実習の受入れ～山岳科学連携協定～ほか) … P1
- 各地からのたより (山の日制定記念 「山の日」四方山祭りin上高地ほか) … P3
- シリーズ「ご当地自慢」(北信森林管理署 「黒姫山」) … P9
- 森林のお仕事紹介コーナー
 - ☆「森林官からの便り」(南木曾支署 蘭森林事務所) … P10
 - ☆「森林・林業界からの便り」(有限会社 根尾開発) … P11
 - ☆「林業土木業界からの便り」(木曾土建工業 株式会社) … P12
- 10月の見どころ聴きどころ … P13

山岳科学フィールド実習の 受入れ～山岳科学連携協定～

【技術普及課】

九月十三日、東信森林管理署管内浅間山国有林において、山岳科学フィールド実習生（修士課程一年次の学生）二十八名を受け入れました。

〈本局のトピックス〉

これは、筑波大学、信州大学、山梨大学、静岡大学が連携して創設している、大学院（博士前期課程）の山岳科学に関するプログラムの一環として実施されているもので、中部森林管理局は、関東森林管理局とともに、四大学と、山岳科学の発展に向けた連携・協力を目的に協定を締結しています。

現地実習では、国有林野事業の事業概要や、清万採種園での種子採取量増加に向けた取組、ニホンジカによる被害防止に向けた取組及び、皆伐、地拵え、植付けを一貫して行うことによる、造林コスト軽減に向けた取組について説明しました。

実習生からは、「クマが間違つてワナに掛かったらどう対処する

のか」、「ワナはどのような場所に仕掛けるのか」、「カラマツの生長を早くすると材質に影響しないのか」などの質問が多く出されました。



捕獲わなの説明をする森林技術指導官

その後、場所を移動し、国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター長野増殖保存園において、カラマツ等の遺伝資源保存に向けた取組を、また、東信木材センターにおいては、カラマツ材の流通等に対する取組についての説明を受けました。

今後も、協定に基づいて、より多くの学生を受け入れたいと考えています。

国有林モニター会議現地視察

【企画調整課】

九月十八日、木曾森林管理署南木曾支署管内（北蘭国有林ほか）において、十四名のモニター参加者が、現地視察を行いました。

午前中、小雨まじりの中、南木曾町の三殿土場において、木曾谷における林業の歴史やブランド材「**高**」**国**木曾ひのき」の取組を、また、南木曾支署に移動し、支署長から管内概要や、木材をふんだんに使った新庁舎と、SDGsを実践する木質ペレットボイラーの使用について説明を受けました。



高齢級木曾ひのき丸太の見学

午後からは、「国有林おさんぽMAP」の蘭美林自然探勝コースにて、森の中で体を動かしながら

記憶能力機能を向上させ、認知症予防に有効とされる、コグニサイズを担当職員の指導により体験しました。



コグニサイズの体験

モニターの皆様からは、「国産材は外材と比べても高くないことがわかった」、「丸太の品等によって、付加価値がつくことがわかった」また、「コグニサイズの体験メニューでは、ウォーキングをしながらの認知課題（引き算・しりとり）は、森の中にこだまする笑い声が絶えない体験となり、「普段味わえない良い経験でした」、「別のコースで試してみたい」といった感想が聞かれました。

今回の視察を通して、モニターの皆様から頂いた御感想、御意見を、今後の国有林野の管理経営に活かすよう努めてまいります。

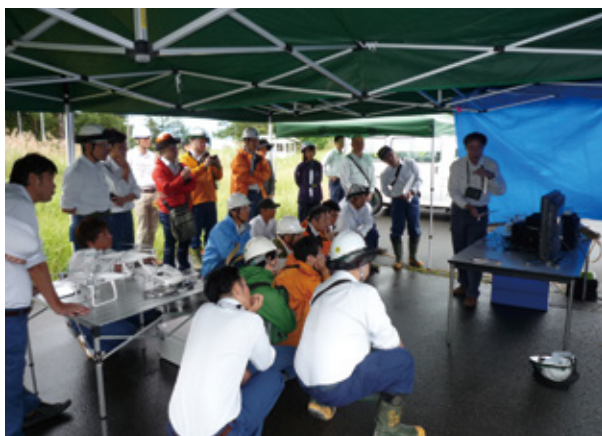
〈本局のトピックス〉

令和元年9月

リモートセンシング技術の
活用に向けた取組

〔治山課〕

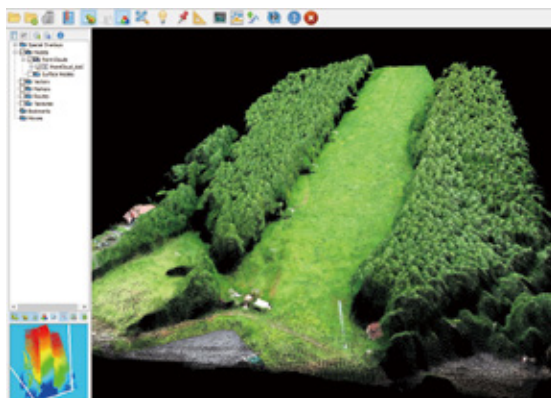
八月二十六日～三十日の「治山技術者育成研修（局研修）」の中で、八月二十八日に「無人航空機の活用実習」を飯綱高原スキー場で実施し、三次元モデル画像の作成にあたり、無人航空機の自動飛行による写真測量実習を行いました。



無人航空機の活用実習（飯綱高原スキー場）

翌日の八月二十九日には、「リモートセンシング技術活用講座」を局大会議室で開催し、現在、整

備を進めている航空レーザ計測データの活用手法や、無人航空機を活用した写真測量（3Dデータ化）等の講義を約五十名が聴講しました。



飯綱高原スキー場の三次元モデル画像

現在、国土強靱化対策の一環として、局管内の国有林等において航空レーザ計測を実施しており、他機関が実施された航空レーザ計測と合わせて、局管内全域（国有林等）の地形データの整備を進めているところです。

リモートセンシング技術の活用は、防災事業のみならず、森林分野でのICT施工やスマート林業の実現に向け期待されています。

「松川の清流と自然を訪ねて」の
イベントで治山事業地案内

〔伊那谷総合治山事業所〕

八月二十五日、飯田市林務課及び鼎地区まちづくり委員会の共催（当所は協賛）による「松川の清流と自然を訪ねて」のイベントが、松川入地区民有林直轄治山事業地内において開催され、当所の職員が治山事業の説明と、今年度事業実行箇所の現地案内を担当しました。

このイベントは飯田市の水源地である松川の源流部の豊かな自然を観察しながら、治山・治水事業についての理解を深めてもらうため、飯田市生涯学習講座として例年実施される催しで、一般公募による三十九名の参加者が、午前中は民直事業地の現地見学を行い、午後は松川入ダムの見学等を行う日程で実施されました。

さわやかな夏空の下、所長挨拶の後に、崩壊地直上や対岸からの遠望、職員による治山工事の進め方の説明を行い、復旧状況について現地を見ながら質問等の応答を

行いました。

参加者からは「こんな奥地で大規模な工事が行われていることに感動した」、「市民の安全・安心の確保にとって欠くことのできない大切な事業であり、森林が回復した様子がよく分かった」などの感想をいただきました。

当所では、一般市民に治山事業の理解を深めていただくため、引き続き事業地の案内に取り組んで参りたいと考えています。



治山技術官による工事の現地説明

〈各地からのたより〉

山の日制定記念 「山の日」四方山祭り in 上高地

【中信森林管理署】

八月十一日、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」を広く普及するため、「山の日」四方山祭りが上高地で開催されました。

今年も晴天に恵まれ、観光客や登山客で賑わう上高地園地で、山をテーマにした軽快な音楽が流れるなか、国、県、市等の関係機関やボランティアによる様々な催しが行われました。



ミニ椅子づくりとブースの様子

中信署は、展示・ワークシヨップのブースを出展し、「お山ん画」パネルで子ども達に林業の説明をしたり、高山植物保護PRカードやしおりの配布、ミニ椅子作りを行いました。



人気の高山植物保護PRカード

カードは、グリーンサポートスタッフが巡視にあたり、登山者への啓発活動として配布しており、高山植物や動物の写真、高山植物保護について三か国語で表され、年齢を問わず最も人気があるのはライチョウの写真が印刷されたカードでした。

また、ミニ椅子作りでは、大人も子どもも集中して取り組み、完成を喜んでいました。



完成したミニ椅子をもって記念撮影

山の恩恵について考える なかつがわ「山の日(サンデー)」 イベント開催

【東濃森林管理署】

八月十日、東濃森林管理署前広場等において、岐阜県、中津川市、東濃森林管理署主催の、なかつがわ「山の日(サンデー)」イベントが開催され、親子連れなど約六百人が林業・木工体験などを楽しみました。

このイベントは、山と木材を身近に感じてもらうため、山の日が国民の祝日となった平成二十八年度から始まり、今年で四回目を迎え、出展ブースや参加者も年々増加してきました。

ブースは、①つくるブース(東濃ヒノキを使ったブックスタンド製作、木のペンダントやコースターを作るクラフト体験、ヒノキのマイ箸作り、ミニ椅子作り)、②みるブース(林業機械の展示、チェーンソーアート、森林技術者によるチェーンソー、フォワーダ技能競技会)③あそぶブース(木製遊具、ストラックアウト、ひのきボールすくいなど)と多彩な内

容で行われました。

東濃署が出展したミニ椅子作りは大人気となり、子ども達は職員の指導の下、慣れないドライバ―を使って悪戦苦闘しながらも、木のぬくもりのあるミニ椅子を完成させ、汗をぬぐいながらこぼれる笑顔を輝かせていました。

当署では、この山の日イベントをきっかけに、今後も地域を含む多くの方々に、森林や林業について関心や興味を持っていただきたいと考えています。



ミニ椅子作りの様子

山の日記念 山岳環境整備の ボランティア活動を実施

【富山森林管理署】

八月四日、立山のブナ坂国有林内において、県民協働・山岳環境整備事業が行われました。

この事業は「山の日」が制定されたことに関連し、立山の山岳環境の保全と、適正な利用を県民協働で推進することを目的に、平成二八年度から開催され、今年で四回目を迎えました。

当日は快晴に恵まれ、家族連れや小中学生など参加者一人一人が協力し、四時間を超える作業に汗を流しました。



外来植物の除去作業の様子

当署からは五名の職員が参加

し、富山県、環境省、立山里部貫光（株）、一般ボランティアの総勢一八〇名が、天狗平に設置してある木製の遊歩道にスリップ防止対策として、砂などを混ぜて固めた特殊な板を設置しました。

また、弥陀ヶ原にて富山県ナチュラリスト協会による自然観察会が行われた後に、オオバコなどの外来植物の除去活動を行い、ボランティア活動を無事終えました。



木道にスリップ防止板を設置する様子



木道のスリップ防止用の板

よくわかる脳トレ森林

ウォーキング体験会開催

【北信森林管理署】

九月十一日、飯山市太田地区活性化センターにおいて、飯山市の小境・鷹落山麓里山整備利用推進協議会が主催し、北信森林管理署が後援した、「よくわかる脳トレ森林ウォーキング体験会」が、三十五名の参加者により開催されました。



住友准教授による講演の様子

体験会では、東北医薬科大学住友和弘准教授より長谷川式認知機能評価方法、機分評価方法等の説明を受け、メデイカルチェック後に、参加者が、しりとりや樹木

の種類を数えながら森林ウォーキングするコゲニサイズを実践し、森林の癒し効果を体験しました。



樹木の種類を数えている様子

雨の影響もあり、ストレス数値が下がった人、上がった人と、個人差はありましたが、多くの参加者から「雨の中の森林ウォーキングも楽しかった」との意見がありました。

その後、ミニワークショップを行い、「飯山脳トレ森林ウォーキングプログラムの開発」について意見交換を行いました。

今後、地域の森林資源を生かした健康づくりと、地域の活性化につながることを期待し、国有林が所在する地域や医療機関及び有識者等とのネットワークづくりに取り組んでいきたいと考えています。

「夏休み特別企画」
「親子木工体験」を実施しました

【名古屋事務所】

八月二十六日、秋の気配が、感じられる「熱田白鳥の歴史館」で、丸太切り、クラフト、ミニ椅子づくりの木工体験を実施しました。

特別企画には、小学校高学年の児童十名が参加し、ボランティア（フォレストサークル・あいち）の方々の協力で、丸太切り、クラフトとミニ椅子づくりを体験しました。



慣れないノコギリに悪戦苦闘

丸太切りでは子ども達が、初めて使うノコギリに悪戦苦闘しながら

らも、クラフトに使う材料の長さ
に伐り、木口のおいを嗅いで
「木の良い香りがする」と母親に
持ち寄る姿を見せ、自分が伐った
木をベースに木片やドングリなど
を装飾して思い思いの作品を完成
させました。

また、ミニ椅子づくりは、ボラ
ンティアの指導の下、慣れないド
ライバーを使いながら親子が協力
して無事完成させました。



親子でミニ椅子づくり

参加した子どもからは「楽し
かった」、「疲れた」などの感想が
聞かれ、指導にあたった職員、ボ
ランティアともにホッと胸をなで
おりました。

名古屋事務所では、地域の方々
に、木の良さに触れていただき、
木材利用の拡大に取り組んでいま
す。

東白川中学校緑化少年団

木曾ヒノキ備林見学

【東濃森林管理署】

九月三日、岐阜県東白川村、東
白川中学校緑化少年団の皆さん
が、総合学習の一環として加子母
裏木曾国有林の木曾ヒノキ備林を
見学しました。

当日は当署職員の案内により、
木曾ヒノキ備林の歴史や伝統的な
伐倒方法「三ッ緒（みつお）伐
り」などの説明を受けながら、平
成十七年に行われた伊勢神宮の御
用材（ご神木）伐採跡地、ヒノキ
とサワラの合体木、平成九年の斧
入式跡地、二代目大ヒノキなどを
巡りました。



二代目大ヒノキ



ヒノキとサワラの合体木

子ども達からは、「普段入ること
ができない貴重な森林を見学で
きて良かった」、「東白川村の近く
に伊勢神宮に使われるすごいヒノ
キがあることに驚いた」、「合体木
がどうして出来たのか不思議だっ
た」との感想が聞かれました。

東白川中学校緑化少年団は今
後、伊勢神宮への訪問を予定して
おり、木曾ヒノキ備林の見学は、
良い事前学習になったのではない
かと思われました。

今回の見学を通じ、貴重なヒノ
キ林の成り立ちや大切さを啓発す
るとともに、伝統文化への貢献な
ど国有林が果たしている役割につ
いて、子ども達に理解を深めてい
ただくことができました。

「インターンシップ」を受け入れました

【木曽森林管理署】

八月五日（九月までの日程で、長野県林業大学校生三名、筑波大学大学院生一名に対し就業体験を実施しました。

〈各地からのたより〉

就業体験では、林野行政や関連する事業に対する理解を深めていただくことを目的に、森林林業の現状と課題等、基礎的な知識を学んでいただきました。

現地実習では、赤沢自然休養林での森林教室、熊対策のテープ巻作業を体験し、また、長野県西部地震の災害復旧状況の現地確認や、民国連携による治山事業地の見学も行いました。さらに、コンパス測量による収



熊対策のテープ巻き作業



木の材積を測る実習

穫除地の計測、林道支障木の測樹、境界標の管理手法について学びました。

最終日には、製品生産事業地で架線集材作業と森林作業道を使用した搬出状況の見学や、生産された材の販売方法・流通について貯木場で説明を受けました。

学生からは、「平地で行う測量と異なり、山での難しさを感じた」、「現場での肉体作業より事務仕事が多いことに驚いた」などの感想が寄せられました。また、「職場の雰囲気は良く働きやすそうな印象を受けた」といった声も聞かれ、当署としてはそれぞれの担当者の熱意が伝わり、就業に結びつくことができると考えています。



製品生産事業の見学

御嶽山パトロール活動へ参加
（R元年度新採業務体験記）

【岐阜森林管理署】

七月六日から八月十一日まで、御嶽山山岳遭難防止対策協議会による遭難防止パトロールが行われました。このうち、岐阜署では七月二十七日から二週にわたって、署長ほか三名の職員が山岳救助隊と合同で参加しました。

主な活動として、登山口での登山届指導や登山道の確認、登山道や山小屋の補修作業、安全な登山について登山者への啓蒙活動等を行いました。



台風接近中、登山者で賑わう五の池小屋

七月二十七日は、台風六号が接近する濃霧で視界の悪い中、岐阜県側の濁河温泉登山口からパトロールを開始しましたが、悪天候にもかかわらず大勢の登山者が見られ、御嶽山の人気をあらためて実感しました。

山頂の剣ヶ峰付近では、ライチョウやコマクサなど高山帯に生息する生物も少なからず見られ、今後、希少野生動植物の生息環境を整備することが、重要になってくると感じました。



御嶽山のライチョウ（画像中央）

これからも山岳救助隊の方々と協力し、御嶽山パトロール活動を継続していきたいと思えます。

〈各地からのたより〉

鳥獣保護及び狩猟に関する 講習会を開催！

【愛知森林管理事務所】

八月二十八日、当所において、職員二十一名が参加し、鳥獣保護及び狩猟に関する講習会を開催しました。

当日は、秋雨前線の停滞による悪天候で、急遽、現地開催から所内開催となりましたが、講習会では担当者から、法令、シカの生態、フィールドサイン、シカ対策や造林コスト低減の実証実験に関する説明を受けた後、二人一組で四苦八苦しながら、くくりわなを設置するための実技訓練と動作体験を繰り返し行いました。



くくりわなを設置する訓練の様子

昨年度から始めた委託捕獲・協定捕獲、ついで見回り、ジビエ利用に続き、十二月からは、手探り状態で職員捕獲も開始しました。その結果、今年度も、捕獲成果をあげているところです。引き続き、流域、地域と連携しつつ、職員のスキルアップに努めていきたいと考えています。



実際に、くくりわなを現地で設置している様子

空調服を活用した、 熱中症対策の取組

【森林技術・支援センター】

近年、主伐・再造林が増加し造林の低コスト化が喫緊の課題となつていきます。当センターにおいても造林の低コスト化に向けた取り組みとして、「ヒノキコンテナ苗」の普及に向け、その優位性の検証のため各種調査を行っております。

コンテナ苗の成長面での優位性が確認できれば、造林コストで大きな割合を占める下刈作業の省略に繋がることから、個体調査と合わせ周囲の下草との競合度合いについても調査を実施しています。



空調服を着用して調査の準備

夏場の造林地での調査や作業は、熱中症対策も兼ねていることから、当センターでは昨年度から空調服を活用しています。空調服とは、電池でファンを稼働し、気化熱の作用を増幅させ、作業着の中の冷却効果を図るものです。



空調服を着用した下刈り作業中の様子

着用して作業してみると汗をかき量が減り、疲労軽減に効果があることが実感できました。猛暑日にたびたび見舞われる昨今、建設工事現場等でも暑さ対策のため、空調服の普及が見られます。

立山美化清掃大会

【富山森林管理署】

八月三〇日、立山・室堂周辺において、立山美化清掃大会が開催されました。

この大会は、立山のすばらしい自然を子々孫々に引き継ぐことを目的に、立山町、山小屋、自然保護団体等の関係者が一体となって実施しているもので、当署としても毎年この活動に協力しており、今年も五名の職員が参加しました。



総勢約130名の参加者が集まった開会式

当日は、停滞前線の影響により、天候の悪い中での作業となりましたが、総勢約百三十名の参加者が、約二時間ごみの収集などの清掃活動を実施しました。



悪天候の中、清掃活動を行う参加者

この活動により、立山のすばらしい自然・景観を守るという使命感と、多くの人との協働を通じた連携意識の高まりを感じました。

富山県内外から多くの人が訪れる立山において、入山者のマナー向上に向けた啓発活動など、今後とも地域の方々と連携して取り組んでいきたいと考えています。

国内外へ情報発信

「お薦め国有林「金華山」」

【岐阜森林管理署】

「日本美しの森」お薦め国有林「」に選定された金華山自然観察教育林の魅力を広くPRするため、七月末から岐阜市内の観光案内所、岐阜観光コンベンション協会、長良川温泉組合などとともに、JR岐阜駅構内にある観光案内所にパンフレット等を配置し、情報発信を行っています。

観光案内所には、国内外から情報を求めて多くの観光客が訪れます。

岐阜観光コンベンション協会は、主にコンベンションの振興や支援に関する事業、観光客誘致及び宣伝事業に取り組んでおり、最近では特にインバウンド誘致活動に力を入れています。

パンフレットの配置一か月後、長良川温泉組合からは、「宿泊者から金華山のことを色々聞かれることがあるが、林野庁が作成したマップやパンフレットはわかりやすく大変助かっています」との話

もありました。

2020年の東京オリンピックに向け、日本を訪れる外国人観光客が増加する中、インバウンド対策は必須の取り組みであり、「日本美しの森 お薦めの国有林」も岐阜県の特徴を紹介できる一つのアイテムとして、地域を盛り上げていければと思っています。



JR岐阜駅構内にある観光案内所へ設置したパンフレット

黒姫山は、長野県上水内郡信濃町にあり、戸隠連峰の東、妙高山の南に位置し、標高二、〇五二メートル、成層火山の安定した山容から「信濃富士」とも呼ばれ、古くから地



北信五岳の一つ、黒姫山

北信署管内の北部、長野県と新潟県境に位置する「北信五岳」及び、「日本二百名山」の一つでもある「黒姫山」を紹介します。



域の人々に愛されています。

当該エリアは、「レクリエーションの森」及び「妙高戸隠連山国立公園」にも指定され、麓から山頂へは、各方面からの登山ルートが設定されており、登山道沿いでは、多様な植生の変化や火打山、戸隠山、飯縄山、苗場山、岩菅山、北アルプスなどを望むことができます。

今回は、大橋登山口からのルートをご紹介します。

大橋登山道への入口は、戸隠森林植物園へ至る県道三六号線「信濃信州新線」沿いの戸隠牧場北側の水門脇にあります。

林道ゲートよりカラマツ林に囲まれた「大橋林道」を進み、林道分岐を右に進むと、左側に登山道入口があります。

暫くの間森林浴を楽しみながら緩やかな登山道を進むと「新道分岐」に到着です。

ここは、四方向（山頂、林道、古池、峰の大池）への分岐点です



新道分岐

が、山頂へはまっすぐ進みます。

ここから山頂に向かつては、傾斜も急になり、周囲はブナ林等、広葉樹林となります。

登山道周辺は、次第に竹細工の材料にもなる「根曲竹」の林を抜け、カンバ類が目立つようになり、急坂を登りきると、ようやく外輪山の尾根「しらたま平」です。

ここからは、戸隠連峰

や飯縄山、北アルプスなどの眺望を楽しむことができます。

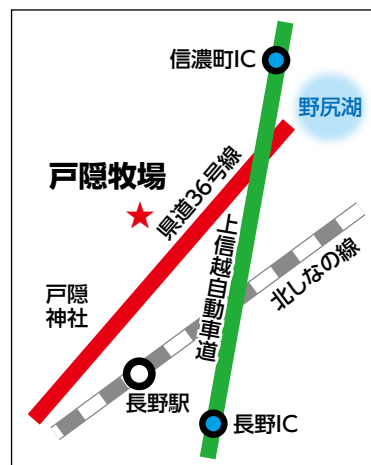


しらたま平からの眺望

そして山頂と続く緩やかな稜線を進むと、大池分岐の看板があり、巨岩を急登すれば、黒姫山山頂です。

山頂には、黒姫山弁財天の祠があり、そこからの絶景は、登山の疲れを忘れさせてくれます。

帰路は、大池分岐看板より右折し、七ツ池や峰の大池、大ダルミ湿原等を楽しみ登山口へ戻ります。



長野ICから車で六十分
信濃町ICから車で三十分

【自動車】
JR長野駅から戸隠キャンプ場行きバス七十分下車、徒歩五分

◆アクセス
長野市戸隠三六九四

◆所在地（戸隠牧場…大橋登山口付近）

登山口より概ね七時間で山頂まで往復でき、日帰りできる山として人気を集めています。皆さん、一度、黒姫山へ登ってみませんか。



黒姫山山頂の弁財天の祠

付、獣害対策などの各種業務を実施しており、今年度は生産事業地の一部が生産性向上実現プログラ



南木曾岳と北蘭国有林、蘭地区
林は人工林率が約六割で、年間約一万立方メートルの木材生産事業のほか、森林育成事業、境界巡検、継続貸

蘭森林事務所は、長野県木曾郡南木曾町吾妻に所在し、町のシンボルである南木曾岳南側の北蘭国有林、南蘭国有林、賤母国有林、約五、三〇〇畝を管理しています。

【南木曾支署 蘭森林事務所】
首席森林官 反中 孝一



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



ヘリコプター集材荷下ろし土場の様子

また、古くから南木曾ろくろ細妻籠宿は重要伝統的建造物群として文化財に指定されており、周辺の自然景観維持のため、北蘭・南蘭国有林の一部の事業実行に当たっては景観に配慮しています。

ムモデル事業地となつていませ。当地には観光地としても有名な「妻籠宿」があり、中山道と伊那街道が交差する交通の要衝として古くから賑わっています。妻籠宿から大妻籠を経て馬籠峠を越えれば「木曾路はすべて山の中である。…」小説『夜明け前』の著者、島崎藤村ゆかりの地「馬籠宿」があります。

さらに、南木曾岳南山麓の北蘭国有林は、木曾谷南部の典型的な生物群集を有する森として「南木曾岳生物群集保護林」に、賤母国有林では木曾谷の多くの森林と異



原皮師による檜皮採取の様子

て、貴重な機会となっております。

工や、蘭笠など伝統工芸が盛んに行われている地域でもあり、「南木曾伝統工芸の森」、「檜皮の森」として『木の文化を支える森づくり』のため、協働で森林整備・保全活動を行っています。特に檜皮の森に於いて、毎年行われる社寺・仏閣用の檜皮の採取は、地元小学校や林業大学校にとつて、貴重な機会となっております。



妻籠宿の町並み (写真提供：南木曾町役場)



蘭森林事務所にて、右端が著者

なる特異な植生を形成していることから「賤母生物群集保護林」に設定されており、貴重な森林の適切な保護・管理のために林野巡視等を行っています。

■未来の担い手へのメッセージ
あるウェブニュースで、伝統工芸品の「ストーリーを伝える」ことが重要と報じられていました。自分なりに、国有林で産出された原材料が供給され、伝統工芸品になっているというストーリーの必要性を感じます。

今後文化の継承や地域振興に国有林として、貢献していきたいでしょう。

ある金華山国有林において、民有地との境界沿いで枯損などの被害により倒伏の恐れのあるものを伐

発注者：岐阜森林管理署

事業（金華山保全）

請負事業：地域連携推進等対策

■事業の概要



有限会社 根尾開発

中井 大夢

(二〇一六年入社)



受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



高所伐採に向かう著者

間伐などはできますが、大径木等危険を伴う立木の伐倒は、経験豊富な先輩からアドバイスを受けています。

■現場での役割、魅力

まだ入社三年目であり、現場では主に4名の班で地拵、植付、下刈、除伐などの造林作業を行っています。

倒・整理するとともに森林を保全管理し自然再生を推進する事業です。この地域はイノシシの出没も多く、地域の被害対策協議会とも連携する中で、この事業により緩衝帯としての効果も期待されています。

また、自ら選択した仕事に就くことで、充実感とやり甲斐が持て

ました。

岐阜市の北部で生まれ育った私は、幼少期から外で遊ぶことが好きで、将来は屋外で汗を流す仕事に就きたいと思っていました。岐阜農林高校へ進学し、二年生の時に山仕事インターシップに参加し、チェーンソーを用いた伐採や林業機械の操作体験で、大木が倒れる姿に圧倒されるとともに、山仕事の達成感を肌で感じ将来の仕事にしたいと考えるようになりました。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

ながら、正確にそして安全に伐倒出来るよう技能を鍛錬中です。林業の技術は一朝一夕には身に付きませんが、色々な作業を経験し覚えていくことが重要だと思います。これからもじつくりと腰を据えて技術を習得し、美しい森を次世代に残すために、森林の担い手として頑張っていきたいと思っています。



伐倒した枯損木の整理

■未来の担い手へのメッセージ
林業の現場は厳しい労働環境で危険も伴いますが、無事に仕事をやり遂げた後の達成感がたまりません。現場職員は二十二名で若い社員も多数います。皆さんもこの達成感を一緒に味わってみませんか！

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



木曾土建工業株式会社

松原 靖児
(二〇〇七年入社)



事業の概要

請負事業：濁川（第六十五号）

復旧治山工事

発注者：木曾森林管理署

本工事は、長野県木曾郡王滝村御岳国有林において、コンクリート谷止工一基、異形コンクリートブロック積工四百七十三個、大転石積工四四〇・一平方メートル瀨追い盛

土工一、四九四・〇立方メートルを主な工種として施工する治山工事です。



濁川（第65号）現場の様子

現場での役割、魅力

今回の工事は、堰堤の規模が大きき、今までに経験したことのない谷止工です。無事故で工期を終えるために、本土工掘削に入るまでの施工手順、仮設ヤードの位置や打設方法を検討し、現場作業員とコミュニケーションを取ることが重要になります。また、規模の大きさに加え、夏場も日陰がない厳しい環境での作業となるので、



濁川（第65号）現場の様子

熱中症対策が必要です。塩分補給のための飴や水分補給ができるような場所を確保して、作業員の体調に配慮して今後も施工していきたいと思っています。

林業土木の世界に

入ったきっかけ

私は高校・専門学校と林業を学び、林業土木にも触れる機会が多くありました。その経験から、構造物を始めから最後まで作って工事を完成してみたいと思ったこと、もともと身体を動かすことが好きだったことから、この業界を選択しました。



起工測量をしている筆者

■未来の担い手へのメッセージ
構造物を完成させることができるときには大きな達成感があります。また、私自身十年以上この仕事をしていますが、まだ経験したことのない工事たくさんあります。多様な工事を経験できることもこの仕事のやりがいだと感じます。

林業土木の業界の課題として、体力的にきついことや、山の中の仕事であることから、若い人が進んで選択しない業界であることが挙げられます。しかし、実際にやってみるとやりがいいの多い仕事だと感じています。より多くの若い人たちが働くことができればいいなと思っています。

運行します。

- ・米子大瀑布駐車場行き 七時三十分～十三時の間、三十分間隔
- ・湯っ蔵んど行き 九時二十分～十六時の間、約三十分間隔

⑮19日 南アルプス林道バス開業40周年記念
水峠紅葉トレッキングツアー

(南信署 伊那市)

見頃をむかえた南アルプスの紅葉を楽しみながら、ジオパークガイドの案内で、北沢峠と仙水峠の間をトレッキングします。

※林道バスの往路代は参加費に含まれます。また、このツアーは健脚者向けです。

お問い合わせ：伊那市観光協会
TEL：〇二六五―七八―四一一

⑯鎌池の紅葉 (中信署 小谷村)

太古のブナの森に囲まれ、ひっそりと佇む神秘の池。周りを一周2時間の遊歩道に囲まれ、新緑の頃や、紅葉の時期には多くの方が訪れます。池の主は大きな鯉だとか。例年10月中旬頃に紅葉の見頃を向かえ、鎌池に映り込む紅葉を写真に収めるため多くのカメラマンが訪れます。

お問い合わせ：小谷村観光連盟
⑰19日 19木トピア

(愛知所 新城市)

「木を育て森林に学ぶ」遠くまで身近な「林業」を感じよう。テーマに開催されます。愛知森林管理事務所のブースでは、木工クラフトを体験できます。

また、J Aまつり&第21回山と水とみどりの協同組合まつり「奥三河！まるごとたべりん祭」も共同開催。

会場：愛知県新城市桜淵公園



⑱20日 第5回飛騨小坂おんたけパノラマウォーキング&ジョギング

(岐阜署 下呂市)

御岳自然休養林内の標高一千七百メートル、高地トレニングエリアを体感しませんか。高地での運動は、酸素を取り込む能力が向上し持久力を高めるほか、肥満・糖尿病などの生活習慣病の改善にも有効であると考えられています。アスリートだけでなく、一般の方の健康づくりにも最適です。

お問い合わせ：下呂市役所小坂振興事務所内「飛騨小坂ふるさとフェスティバル実行委員会」



下旬

⑲下旬 付知峡の紅葉(東濃署 中津川市)

付知峡は、「森林浴の森日本一〇〇選」「岐阜県の名水五〇選」「飛騨・美濃紅葉三十三選」に選定されている、東濃有数の峡谷です。また、岐阜県を代表する紅葉の名所として知られています。青川の異名を持つほど澄み切った付知川の清流に、鮮やかに紅葉が映えます。

⑳25日～11月20日 第48回岐阜公園菊人形・菊花展 (岐阜署 岐阜市)

金華山国有林麓の岐阜公園で「信長公、フロイスと接見する」をテーマに「菊人形・菊花展」が開催されます。菊作りの名人たちが育てた大菊、小菊、美濃菊をはじめ、小菊を流木などに這わして作る「木付け」などの菊

花が展示されます。

お問い合わせ：岐阜市公園整備課

㉑27日 めいほう高原秋祭り2019 (岐阜署 郡上市)

紅葉もグルメもイベントも楽しめるお祭りです。「名物千人鍋」の無料配布をはじめ、特産品の出店やステージショーなど盛りだくさんに行われます。

お問い合わせ：明宝イベント推進協議会

㉒31日 地域とつくる！健康・人材育成プログラム なぜ森に入ると気持ちがいいの？ ～新しい森林浴への期待～ (飛騨署 高山市)

(一社) 森と未来代表理事の小野なぎさ様による講演会を通じて、多くの森林を有する高山市の地域と人を元気にする森林浴の可能性や期待することについて考えます。

会場：久々野公民館
お問い合わせ：(株) 長瀬土建



㉓下旬～11月上旬 飛騨美濃せせらぎ街道の紅葉が見頃 (高山市 郡上市)

岐阜県中央部を南北に縦断する国道四百七十二号線は「飛騨美濃せせらぎ街道」の愛称で親しまれ、例年10月下旬から全長七十二キロにおよぶ沿道の各所で紅葉が楽しめます。標高の最も高い西ウレ峠から順に紅葉が始まり、11月上旬になると赤や黄色に美しく染まる山肌が高山、明宝、郡上八幡へと広がります。

編集長だより あなたの気持ちの一枚！お待ちしております！

風が冷たくなり、急に秋めいてきました。

国有林では、紅葉を背景に様々なイベントが予定されています。秋の香りと燃ゆる山々の雄大な風景！ひと時の感動を探しに、森へお出かけしませんか。

中部森林管理局では、気軽な散策に向けた国有林もピックアップしています。

ぜひ、「国有林おさんぼマップ」を片手に、森へ出かけたい方が多いかと。

(おさんぼマップは、QRコードを読み込んでください)

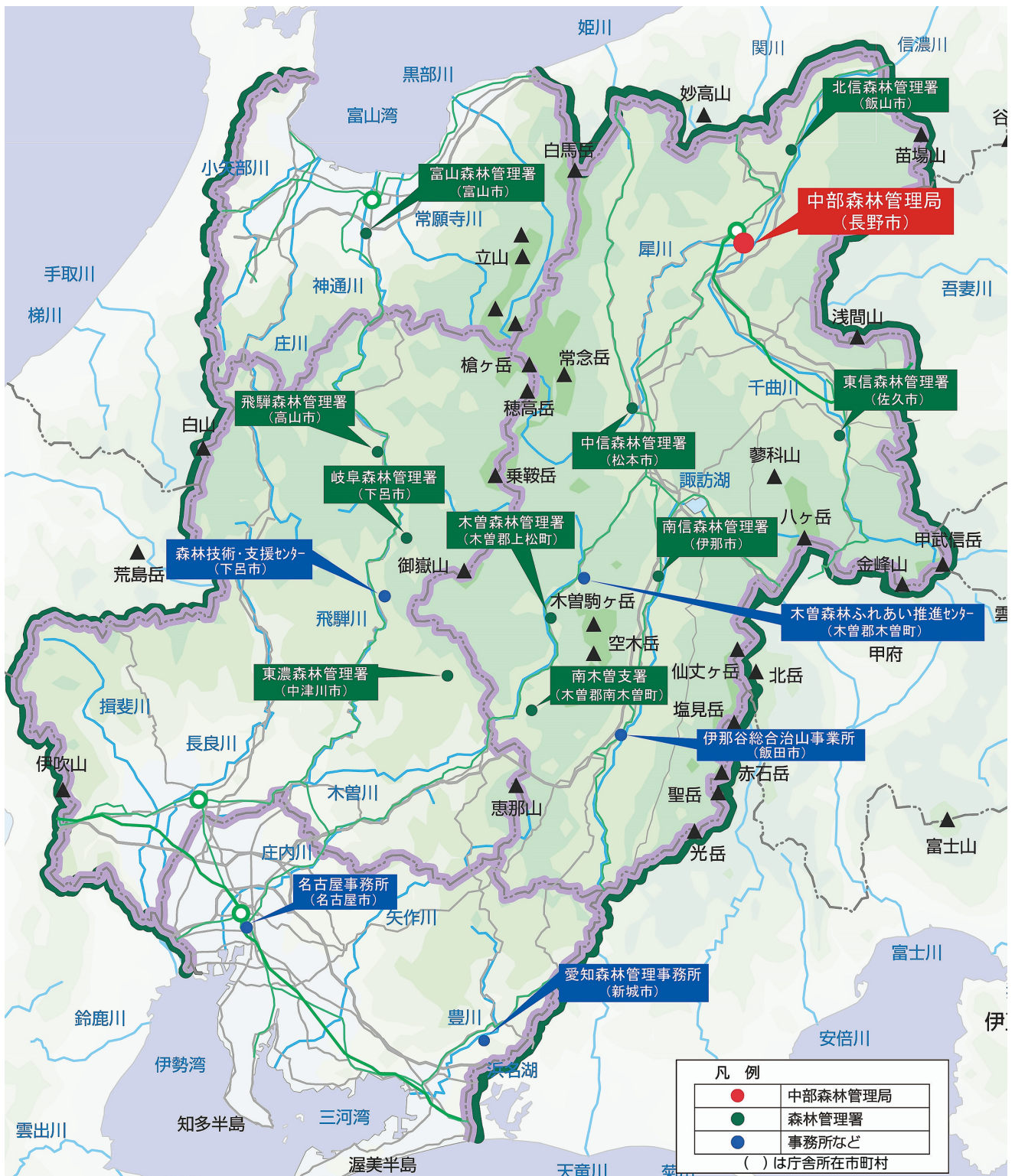


☆魅力イッパイ国有林などに関する写真投稿を随時募集しています。

ステキな写真が撮れましたら migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

※特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載紹介させていただきます。ご投稿には、氏名またはニックネーム、整理番号(今月なら①～③のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。

☆森林でのお仕事紹介コーナーを見て、森林・林業業界への興味を持っていただけたら幸いです。進路検討中の皆様、お気軽に最終ページのお問い合わせ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曾森林管理署	〒399-5604	長野県木曾郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曾支署	〒399-5301	長野県木曾郡南木曾町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曾森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曾郡木曾町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149